

経済・金融 フラッシュ

中国経済:4/1 発表の製造業PMI ~4ヵ月ぶりに改善も、これからが正念場

経済研究部 上席研究員 三尾 幸吉郎

TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

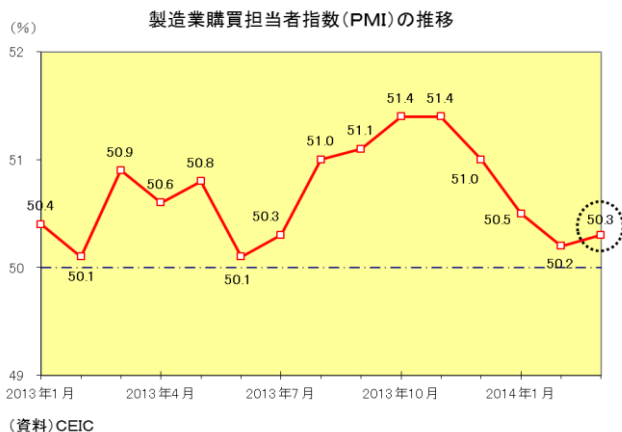
- 3月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）は50.3%と前月比0.1%ポイント上昇、4ヵ月ぶりに前月の水準をやや上回り、2013年10-11月をピークとした連続低下は止まった。
- 人民元（対米国ドル）が1月をピークに3%程度下落し、新規輸出受注指数は大幅改善、輸出企業の多い小型企業のPMIも改善していることから、輸出には改善の兆しがでてきたようだ。
- また、生産経営活動予想指数は3月にさらに改善した。今後は予想指数の後を追って総合指数が改善に向かうのか、それとも予想指数が急落してしまうのか、景気は正念場を迎えたようだ。

【 総合指数は4ヵ月ぶりに改善 】

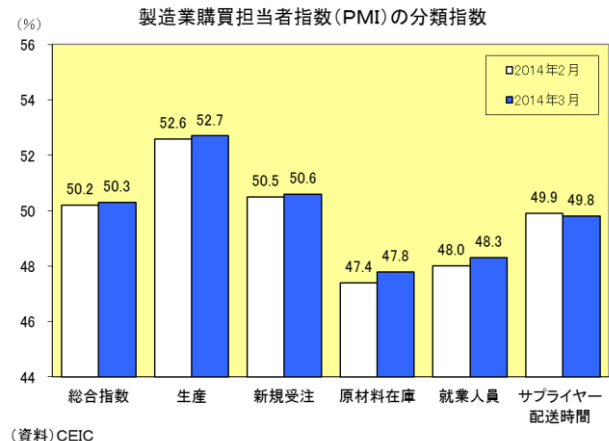
4月1日（火）、中国の国家統計局サービス業調査センターと物流購買連合会は2014年3月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）を発表した。それによると総合指数は50.3%と前月と比べて0.1%ポイント上昇した。拡張・収縮の分岐点となる50%を18ヵ月連続で上回るとともに、4ヵ月ぶりに前月の水準をやや上回り、2013年10-11月をピークとした連続低下に歯止めがかかった形となった（図表-1）。

図表-2 に示した分類指数を見ると、生産指数が前月比0.1%ポイント改善、新規受注指数が同0.1%ポイント改善、原材料在庫指数が同0.4%ポイント改善、就業人員指数が同0.3%ポイント改善、サプライヤー配送時間指数（逆指数）が同0.1%ポイント改善と、5つ全ての分類指数が前月より少しずつ改善している。

（図表-1）



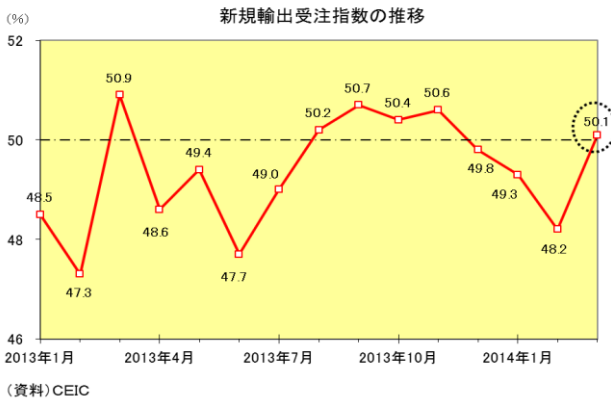
（図表-2）



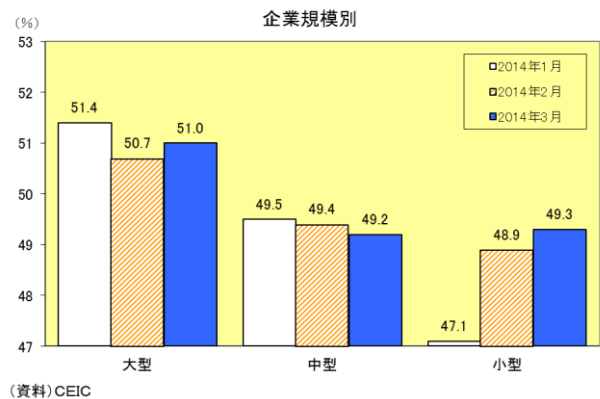
【 輸出には改善の兆し 】

輸出の先行指標として注目される新規輸出受注指数は50.1%と前月と比べて1.9%ポイントの大幅上昇となり、4ヵ月ぶりに拡張・収縮の分岐点となる50%を上回った(図表-3)。他方、企業規模別の指数を見ると、輸出企業の多い小型企業が1月をボトムに改善してきている(図表-4)。このように輸出に改善の兆しが表れてきた背景には、中国の通貨(人民元、対米国ドル)が1月の高値から3%程度下落したことがあると思われる。

(図表-3)



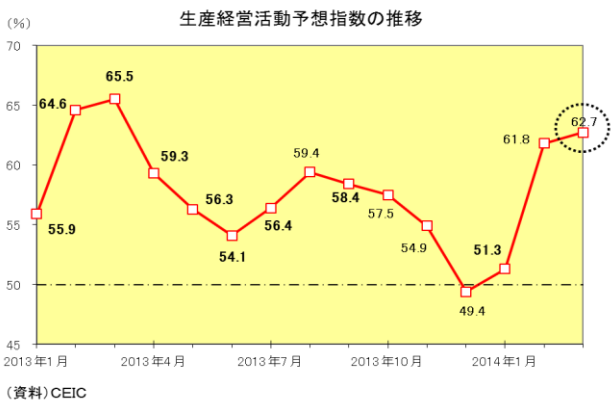
(図表-4)



【 予想指数はさらに改善も、これからが正念場 】

一方、生産経営活動予想指数(今後3ヵ月以内の生産経営活動に対する楽観度を示す)は62.7%と前月より0.9%ポイント改善、2月に大幅改善したレベルをさらに上回った(図表-5)。しかし、まだ楽観できる状況ではないと思われる。総合指数の過去の動きを見ると、季節調整後とはいえ調整の癖なのか3月は改善することが多い。今回もその例に漏れず改善したものの、改善幅は0.1%ポイントとこれまでに無く小さかった(図表-6)。予想指数の後を追って総合指数が改善に向かうのか、それとも景気対策に失望して予想指数が急落してしまうのか、景気は正念場を迎えたようだ。

(図表-5)



(図表-6)

月	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
1	▲ 0.8	▲ 1.0	0.2	▲ 0.2	▲ 0.5
2	▲ 3.8	▲ 0.7	0.5	▲ 0.3	▲ 0.3
3	3.1	1.2	2.1	0.8	0.1
4	0.6	▲ 0.5	0.2	▲ 0.3	
5	▲ 1.8	▲ 0.9	▲ 2.9	0.2	
6	▲ 1.8	▲ 1.1	▲ 0.2	▲ 0.7	
7	▲ 0.9	▲ 0.2	▲ 0.1	0.2	
8	0.5	0.2	▲ 0.9	0.7	
9	2.1	0.3	0.6	0.1	
10	0.9	▲ 0.8	0.4	0.3	
11	0.5	▲ 1.4	0.4	0.0	
12	▲ 1.3	1.3	0.0	▲ 0.4	

(資料)CEICのデータを元に作成
(注)2013年1月に調査ユニバースが820社から3000社へ拡大

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。